

令和3年度地域と市長のまちづくり懇談会

開催回次	令和3年度第3回	開催月日	7月25日	開催校区	西郷校区	開催場所	西郷校区市民館
議題				市の回答			
<p>1. 北部地域における今後の農業経営について</p> <p>市の考えをご教示ください。</p> <p>1. 北部地域の耕作状況と今後の方向性について</p> <p>2. 次郎柿栽培農家の現状と今後の見通しについて</p>				<p>農業支援課</p> <p>1. 北部地域の耕作状況と今後の方向性について</p> <p>(1) 一般的な課題 担い手の高齢化や後継者不足による荒廃農地や放任園の増加</p> <p>(2) 地域特有の課題 果樹園における農地利用集積の困難さに加え、イノシシやニホンジカによる食害の多発などが離農者及び高齢化への拍車をかける</p> <p>(3) 現状及び今後の対策 農地中間管理事業に貸出希望農地を集めることで農地の集積・集約化を目指している 猟友会等による捕獲の推進と地域による侵入防除を一体とした有害鳥獣対策を推進しており、今後は狩猟免許補助や安全講習会による捕獲担い手の充実に努める</p> <p>2. 次郎柿栽培農家の現状と今後の見通しについて</p> <p>(1) 柿農家の変遷及び現状 JA豊橋柿部会は戦後大きな発展を遂げ、平成11年をピークに約600人の生産者が存在しましたが、現在は約半分の349人にまで減少</p> <p>(2) 担い手の確保～豊橋かき塾～ JA豊橋では定年帰農者の担い手への誘導を図るべく平成30年度より「豊橋かき塾」を開催。これまで47人が受講終了し、担い手として活躍</p> <p>(3) 品質及び収量の向上～果樹経営支援対策事業～ 優良品種への転換を図る改植を促進するための国庫補助「果樹経営支援対策事業」を活用し、高樹齢化による生産性の低下を解消</p>			

開催回次	令和3年度第3回	開催月日	7月25日	開催校区	西郷校区	開催場所	西郷区市民館
議題				市の回答			
<p>2. 高齢化社会におけるインフラ整備について</p> <p>コミュニティバスについて市の考えをご教示ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「柿の里バス」の運行状況と課題について 豊川市との連携について (生活圏が豊川市である住民が多いため) 				<p>都市交通課</p> <p>本市では、路線バスが廃止された地域など、交通事業者による従来の乗合型公共交通の運行が難しい地域では、日常の移動手段を確保するためにコミュニティバスが運行されています。コミュニティバスは、地域運営委員会が主体となって本市や交通事業者と連携しながら運営するものとなっています。</p> <p>この地域の「柿の里バス」は、北部7校区(賀茂、西郷、嵩山、下条、石巻、玉川、鷹丘)から構成される石巻・下条地域交通推進委員会(地域運営団体)において、バス停の位置やダイヤ、利用促進策など様々なことを検討しており、現行のルートは、住民アンケートや実態調査などから要望の多かったルートになっています。</p> <p>一方コミュニティバスは市の補助金により運行しているため、運行の継続基準として、①運賃等による収支率が15%以上、②欠損額が補助金の上限を超えないこと、③地域公共交通活性化推進協議会にて取組実績等を報告することの三点が設けられています。</p> <p>運行状況につきましては、月あたりの利用者数は、H27年度594人をピークにH28年度から令和元年度までは500人前後で横ばいが続いていましたが、コロナ禍により318人に激減しています。</p> <p>課題につきましては、H22～28年頃、毎年バス停を設置し、バス停数が35から52箇所となっております。石巻中山から東部医療センターは、ルートが複雑になっており、1時間38分と乗車時間が長くなっています。また、令和2年度の収支率は15.4%となっております。利用者数を回復させることが急務となっています。</p> <p>豊川市との連携につきましては、豊川市の目的地に乗り入れることや、豊川市のコミュニティバスのバス停との接続など様々な手法が考えられますが、西郷校区利用者のニーズの確認や、豊川市の意向、お互いのルート、接続のためのダイヤの調整などの課題があります。</p> <p>またルートやダイヤ変更により現在の主な利用者が離れてしまい、結果的に運行継続基準の達成が難しくなる懸念があるため、慎重に対応する必要があります。</p> <p>これらを踏まえ、ご提案いただきました豊川市との連携につきましては、各地区のニーズや課題などを把握しながらより良い運営について運営団体と共に本市も一緒になって勉強していきます。</p>			